

# 学校評価 令和元年度 登美が丘カトリック幼稚園

## 1、本園の教育目標

本園は、キリストの愛の精神に基づき、一人ひとりの子どもを大切にしながら、個々のもっている能力を伸ばし、主体的に行動出来る豊かな人間性の基礎育成をめざします。

## 2、本年度重点的に取り組む目標、計画

一人ひとりの教職員が見学の精神を理解し、カトリックの理念に基づいた教育を行う。  
 子どもが自分たちで主体的に遊びを進めていける環境作りを行う。新しい生活の仕方を子どもたちの生活の中に取り入れ、様々な基本的な生活習慣を見直したり工夫したりする。

## 3、評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	取り組みの状況
園の建学の精神、教育理念の理解に努め、日々の保育に活かす。	カトリック幼稚園としてカトリック的原理に根ざす教育観をさらに学ぶ場として引き続き土曜学校の指導案・方法をシスターから学び分かち合いながら深めていく機会を継続的に設けていた。
教師一人ひとりの資質向上の為に、しいては園全体の教育の質の向上の為に、園内研修を充実させる。	様々な研修会や研究会に参加して学んだことや全教員年数回の園内研修を通して学んだことをレポートにし職員会において分かち合い共有化を図るようにしてきた。更に成長の姿をマッピングにするなどして、全職員で見直し子どもの理解に努める。
幼稚園の教育課程の編成、実施に繋がるよう、新教育要領の理解に努める。	幼稚園教育要領の内容に対する理解を深め、幼稚園に求められる社会的なニーズの変化や子どもに必要な環境を整える者としての研鑽を積むために、園内研修KJ法等で、考えを纏めるなどしてきた。そこを継続させ、活動などに置き換えて深めていくことをしていきたい。
園の施設、整備、遊具等の安全点検の定期的な確認に努める。	子どもが遊びたくなる環境整備を心掛けてきた。施設、整備、園内外の遊具の安全確認を毎朝、また月に1度行い、危険が予測される場合は、速やかに修理、修繕を行うことを行っている。

<p>防災意識を高める。あらゆる安全対策のための体制作りに努める。</p>	<p>日々の保育を工夫して対応出来るよう訓練をかさねてきたが、更に体制の強化、マニュアルの再確認を訓練を通して徹底を心掛けた。</p>
<p>特別な支援を必要とする子どもだけでなく、園全体がインクルーシブ教育になっていけるよう努める。</p>	<p>自園の特別支援教育士のアドバイスを受けながら、育ちの違いがある子ども達をひとつくりに見るのではなく、総合的な支援に繋がる視覚支援などの工夫を行ってきたが、その事を継続し、スモールステップの積み重ねによって、最終的には少ない援助で日々を過ごせるようにしていく努力を重ねている。</p>
<p>4、学校評価の具体的な目標や計画の総合評価</p>	
<p>子ども達の主体的に遊べる環境は整いつつあり、保護者の方々にも理解していただけるようになってきたが、更に生活が主体的に出来るような環境作りは、工夫する必要があることに気づいたので、これからはそのような面を整えていきたい。</p>	
<p>5、今後取り組むべき課題</p>	
<p>課題</p>	<p>具体的な取り組み方法</p>
<p>安全対策の強化</p>	<p>大規模な地震に備えての体制作り、並びに危機管理マニュアルの細分化に努める。</p>
<p>子育ての支援</p>	<p>入園前の子ども達の遊び場や、子育ての相談の有り方を、再度検証し整える。乳幼児を持つ、保護者の方々をはじめとする必要な方々への支援の拡充。</p>
<p>子どもの状況・実態を掴み、職員の共通理解を深め、見守り関わる体制の強化を図る</p>	<p>日々の子ども達一人ひとりの様子を意識して伝え合い、担任だけではない先生の前で見せる姿等の伝え合いにより、一人ひとりに合った援助や見守り関わる体制を更に検討し合う。</p>
<p>子どもが主体的に遊べる環境の他、育ちに必要な経験が出来る場所や環境を整える</p>	<p>子ども達が主体的に遊べる環境にあった環境作りの更なる見直しと、安全にこだわりすぎて、経験が不足するようなことがないように、必要な経験が自然に出来る環境作りを行ないたい。</p>

情報の共有、発進の強化

子ども達の状態をより良く理解していただくためにも、保護者の方々によっては、紙媒体だけではない、足りないと感じられている方もいた子に気づく事が出来た。自分たちが伝えたいと思う事の発信だけでなく、保護者の方々が知りたいと思われるだろうことを想像した発進を心掛けたい。